



愛川ふれあいの村 今月の風景

2019年10月 自然のたより

生き物たちの秋は来年に向けて、卵を産むもの、食料をため込むものなどがあります。例年よりも遅れて咲いたヒガンバナなどはチョウやハチに蜜を提供し、餌に夢中のハチを肉食の生き物が襲うという食物連鎖が見られました。サザンカが咲き始め、冬鳥も到来しました。葉が色づき始めた木々からはいよいよ秋から冬へのカウントダウンが感じられてきます。



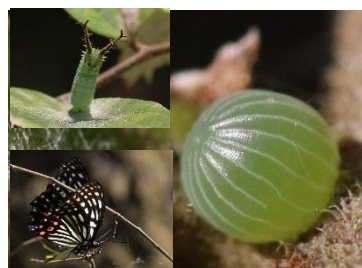
ジョウビタキ



ノカンゾウ



ミンミンゼミに不完全菌



アカボシゴマダラ



ヒガンバナ



ヤマアカガエル



柿林ヅ ヲクとチャハ



カワバ ハグ マとヌグ ヒョウメイ



ツバメとトビノハチ



ネキトンボ



狙いを澄まして…



ホトトギス



カラカサダケ



セキヤノアキチョウジ



アサギマダラ

トピックス ★香り高さ金木犀★

～日本三大香木～

村内を歩いていると、どこからかとても心地の良い香りがしてきます。気になって、探していると例年より1ヵ月程遅れて金木犀が開花していました。オレンジ色の花びらと濃い緑色の葉っぱのコントラストは鮮やかで印象によく残り、見ていて癒されます。

その特徴的な香りはトイレの芳香剤を思い出す人もいて、当時を知る人は懐かしむ匂いだと言われています。また、香りには食事の量を抑える作用があり、ダイエットにも効果があると言われています。私もダイエット中なので実践したいと思います。香りが印象に残る金木犀ですが、花言葉もたくさんあります。その中で、私が一番好きな花言葉が『真実』です。

金木犀のその香りの強さから、開花したことを隠したりごまかすことができません。つまり、嘘のつけない香りが「真実」の由来になっているようです。

木の特徴として病害虫に強く、栽培しやすいので一般の家庭のお庭でもよく目にすることが多いです。私も家を建てる時は栽培したいと思います。

開花時期は残り僅かになりますが、愛川ふれあいの村に来た時はぜひ、香りを楽しんでみてください。(大田)



生き物 ★鳥の糞のような★

写真の2体の生き物はなんでしょう。とても容姿が似たクモです。普段は葉の裏でじっとしてなかなか気づきません。しかし、とても分かりやすい目印を作ります。卵のう(卵の入れ物)のそばには必ずこのクモがいます。卵はとても目立って親はあまり目立たないことには少し違和感がありますが、近くで見守っている親。子育ての方法は虫それぞれです(基本は放置ですが…)。それでも、親の愛を感じる光景です。卵のうを見つけたらそっと見守ってあげてください。(石川)



▲トリノフンダシ

▲オオトリノフンダシ

旬 ★クルミでダイエット★

『ロカボ』という言葉を目にする機会が多いのではないのでしょうか。適量の糖質を取ることの意味で使われています。ロカボには糖質が低いナッツ類が良いといわれています。ナッツ類の中でもクルミはスーパーフードと言われ、抗酸化作用が高く、ビタミンが豊富に含む食材です。今では、コンビニなど量販店で販売されていることが多く、健康に配慮された無塩タイプで販売されています。適正量の糖質を取りつつ、正月に備えた習慣づくりをするのはいかがでしょうか。(鷲山)



来月の見どころ

紅葉鮮やかに進む

秋になると日照時間が短くなり、気温が下がってくると、紅葉や黄葉が始まってきます。イロハモミジなどの紅葉、イチヨウなどの黄葉はその年の気温や生育環境によって大きく左右されるので必ずしも一定したものではありません。村内には、多くの落葉樹があり日々変化しながら秋の色に変わっていきます。イロハモミジは緑色の葉と少し赤く色づき始めた葉がまじりあっています。寒い日があると写真のように一気に紅葉していきます。紅葉する木々、カエデ類のイロハモミジ、ヤマモミジ、ハナノキ、そしてトウカエデ。真っ赤に紅葉するニシキギ、マユミ、ドウダンツツジ、ミツバツツジ。ウルシ類のツタウルシ、ヤマハゼ、ヌルデ。バラ科のオオヤマザクラ、ヤマザクラ、ウワミズザクラ、カマツカ、ナナカマド。ミズキ科のヤマボウシ、クマノミズキ、ミズキ。黄葉、イチヨウ、トサミズキ、ポプラ、シラカバ、ヤマブキ。黄褐色、ブナ、トチノキ、ケヤキ、クヌギ、カシワ。多くの種類があります。毎年行われる「紅葉まつり」の頃が見ごろで、今年は十一月十六日(土曜日)です。長いイチヨウ並木に続くイロハモミジとのグラデーションが見事で大勢の人々が来村されます。(吉田)

